

ASI への投稿のお願い

会員各位

Anatomical Science International (ASI) は解剖学雑誌を 2002 年より再編し、国際英文誌としてデビューしました。この間、投稿数は大きく伸び現在 impact factor は 1.5 強を獲得しています。この雑誌がカバーする範囲は解剖学全般、細胞生物学、臨床解剖学、人類学、医学教育など幅広いため、さまざまな読者の目に触れる機会があります。

2021 年 3 月末より大塚愛二編集長に代わり竹田扇が就任しました。新しい企画として、① Cadaver Surgical Training (CST) 特集号の発行、② 各号 1 編の Editor's Choice 論文のセレクションとその論文の 2 か月限定の free access 化、③ 表紙の刷新、などが進行中です。また若手会員から Assistant Editor を採用し、これまでの慣習に囚われない誌面作りを行なうことも決定しています。

さて Springer Nature 社による本年 5 月 24 日付統計では日本からの投稿数が減少気味であり、現在の投稿数で推移すると 2020 年実績の 55%、2019 年実績の 60%程度に落ち込む見込みです。本誌への日本からの投稿はレベルも高く被引用件数も多いという実績がありますので、このままですと雑誌のクオリティが低下する懸念があります。また我が国の解剖学のレベルは極めて高く、すでに 1900 年代初頭から脳解剖学や人類学などで世界的な業績を上げてきました。

この様な伝統を汲む日本解剖学会をさらに盛り上げていくために会員の皆様には研究成果を発表される際は是非とも ASI もご考慮をいただきたくお願いを申し上げる次第です。また機会がありましたらお知り合いや共同研究者の方々にも ASI をご紹介いただけますと幸いです。

以上、どうぞよろしくお願い申し上げます。

2021 年 5 月

Editor-in-Chief, ASI

竹田 扇